

今月の3冊 プラス +1



マンガ 精神疾患をもつ人への関わり方に迷ったら開く本

教えて看護理論家の先輩たち！ 私の役割って何？

原作：中村 創、漫画：水谷 緑

発行：医学書院

定価：1980 円（本体 1800 円＋税 10%）

主人公は精神科に入職した新人看護師。患者との関わり方や看護の方向性で悩むたびに、先輩が8人の看護理論家の言葉を引用しながら、その場で何が起きているのかを解説。ヒントを提示しながら新人看護師を導く。重要な看護理論のエッセンスを漫画で学びながら、精神科の看護を理解できる1冊。



発達障がい、グレーゾーン…

発達が気になる子どもへの関わり方を教えてください！

著：中村敏也

発行：かざひの文庫

定価：1650 円（本体 1500 円＋税 10%）

地域に根ざした24の福祉施設を運営する著者が、延べ6万2000人の子どもたちと関わってきた経験から、“気になる行動”をとっている子どもの気持ちや関わり方を丁寧に解説。発達に凹凸のある子どもでない子ども笑顔になる52のメソッドは、家庭、保育・教育の場の対応を変える。



ゆるくつながる

笑いで広がる共感とコミュニティ

著：田久朋寛

発行：春陽堂書店

定価：1760 円（本体 1600 円＋税 10%）

著者は京都大学大学院出身の大道芸人。夢は、大道芸の笑いを医療や福祉に活かし、医療・福祉専門のブロードの大道芸人が当たり前のようにいる世界を作ること。ジャグリングと暮らしに役立つ政策の話と同時に、高齢者福祉に貢献できる講演をライフワークにした、「笑いと健康」「笑いと生きがいづくり」の実践的なノウハウを伝える。

手軽な
+1



認知症のわたしから、10代のあなたへ

著：さとうみき

発行：岩波書店

定価：1595 円（本体 1450 円＋税 10%）

43歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断を受けた著者。いったん家に閉じこもったが、認知症当事者や支援者との出会いから、現在は当事者同士のサポート活動のほか、各地で講演会など普及啓発活動を行う。障害のある息子の子育てから学んだ「ひとりでは抱え込まない」を大切にしながら生きる日々を描いた1冊。